
令和4年度 第2回 人生の最終段階における医療・ケア検討会議

日時: 令和5年2月 20 日(月)18:45～20:30

場所: 県庁本庁舎 第二応接室

次 第

1 開会

2 議題

- (1) 令和4年度の取り組みについて
 - ・県の取り組み(資料1)
 - ・市町村の取り組み(資料2)
- (2) 令和5年度の取り組みについて(資料3)

3 閉会



高知県在宅療養推進課

人生の最終段階における医療・ケア検討会議設置要綱

(目的)

第1条 県民一人ひとりが最期まで自分らしく尊厳をもって生きられるよう、人生の最終段階において提供される医療及びケアについて検討するため「人生の最終段階における医療・ケア検討会議」(以下「会議」という。)を設置する。

(協議事項)

第2条 この会議は、前条の目的を達成するため、次の事項について協議する。

- (1)人生の最終段階において提供される医療及びケアのあり方に関する事。
- (2)ACP(アドバンス・ケア・プランニング)による意思決定の体制整備に関する事。
- (3)ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の普及啓発に関する事。
- (4)その他、目的を達成するために必要な事項。

(組織)

第3条 会議の委員は、人生の最終段階における医療・ケアに携わる医療関係者・介護関係者、学識経験者、関係団体及び住民の代表者等で構成する。

- 2 会議に座長を置き、委員の互選により選出する。
- 3 委員が会議に出席できない場合、代理出席を認める。

(会議)

第4条 この会議は、座長が必要に応じて招集し、座長が議長となる。

- 2 議事は、公開とする。

(事務局)

第5条 検討会議の事務局は、高知県健康政策部在宅療養推進課に置く。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、会議の組織及び運営に関し必要な事項は、座長が委員に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和元年6月10日から施行する。

この要綱は、令和3年6月9日から施行する。

人生の最終段階における医療・ケア検討会議 委員名簿

氏名	所属・役職名	備考
阿部 恭宜	公益社団法人高知県薬剤師会 常務理事	
伊与木 増喜	一般社団法人高知県医師会 常任理事	
岩崎 美幸	公益社団法人高知県看護協会 看護師職能理事	
北岡 智子	国立大学法人高知大学 講師	
北村 龍彦	一般財団法人日本尊厳死協会四国支部・高知 代表	座長
公文 理賀	一般社団法人高知県社会福祉士会	
長瀬 美和	一般住民代表 (高知県連合婦人会 副会長)	
中本 雅彦	高知県医療ソーシャルワーカー協会 会長	新
廣内 一樹	高知県介護支援専門員連絡協議会 会長	
福田 晃代	高知県老人福祉施設協議会 副会長	
堀 洋子	一般住民代表 (高知県医療審議会保健医療計画評価推進部会委員)	
松本 務	あおぞら診療所高知潮江 所長	
森下 幸子	高知県公立大学法人高知県立大学 准教授	
安岡 しずか	公益社団法人高知県訪問看護連絡協議会 会長	
依岡 弘明	一般社団法人高知県歯科医師会 副会長	新

※敬称略、五十音順

令和 4 年度事業実績



実績一覧

進捗管理	・ 検討会議の開催 ⇒ 2回 (7/11、2/20)
人材育成	・ 指導者研修 (国) ⇒ 2回(10月、1月) ・ 相談員研修 (国) ⇒ 2回 (12月) Web開催 ・ 医療従事者レベルアップ事業 (県) ⇒ 3回 (11月) ・ あったかふれあいセンターコーディネーター研修 (県) ⇒ 1回 (9月)
実態把握	・ 市町村アンケート調査 ⇒ 5月実施
県民啓発	・ 公開講座 ⇒ 県内3カ所 (11月)、ACPフォーラム (1月) ・ 広報媒体 ⇒ 日本一の健康長寿県構想広報番組 (8月) テレビ・ラジオ読み上げ等 (8月、11月) 高知新聞広告 (7月) ・ 出前講座 ⇒ 4回 (7月、11月、2月) ・ 啓発資材 ⇒ 随時配布 黒潮町全戸配布 (12月) ・ 企業と連携した啓発 ⇒ 保険会社、葬儀社等 共同セミナー 1回(10月)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
進捗管理				第1回 検討 会議 7/11								第2回 検討 会議 2/20
人材育成				↑		あったか コーディネーター 研修 9/27	指導者 研修 10/23	レベル アップ 事業 11/6,25	相談員 研修 12/10, 11	指導者 研修 1/28,29		在宅医療 連携研修 事業 3/2
実態把握		市町村 アンケート 実施										
県民啓発	啓発 資材 配布 (随時)			出前 講座 7/22	テレビ・ ラジオ 読み上げ 7/17,18, 20		企業との 共同 セミナー 10/30	テレビ・ ラジオ 読み上げ 11/15,17 公開講座 11/1,23, 26 出前講座 11/22,24	黒潮町 リーフレット 全戸 配布	ACP フォー ラム 1/28	出前 講座 2/2	

人生会議（ACP） 令和4年度事業実績

（1）人生の最終段階における医療・ケア検討会議

第1回：令和4年7月11日（月）18:45～20:10 高知城ホール 中会議室

出席者 委員13名、事務局9名

第2回：令和4年2月20日（月）18:45～20:30（予定） 県庁本庁舎 第二応接室

出席者 委員13名、事務局4名（予定）

（2）人材育成

①指導者研修（※厚生労働省主催）（オンライン）

人生の最終段階における医療・ケアに関する患者の相談に適切に対応できる体制を強化することを目的に全国でブロックごとに開催。

令和4年度の指導者研修は相談員研修のファシリテーターを担う人材を養成した。

受講者は公募せず、これまでの指導者等の推薦によって決定した。

1回目：10月22日（土）、23日（日）

2回目：1月28日（金）、29日（土） 参加者1名

（H28～R4 累計11名受講）

②相談員研修（※厚生労働省主催）（オンライン）

1回目：12月10日（土）（医療機関が多職種チームで参加） 参加者16名

2回目：12月11日（日）（在宅医療・施設ケア従事者が参加） 参加者8名

（H28～R4 累計202名受講） ※別紙参照

③医療従事者レベルアップ事業（県事業として各種団体に対して講師を派遣）

対象：医療従事者

日程・開催地	主催者	テーマ・講師	人数
11月6日（日） （オンライン）	高知県口のリハビリテーション研究会	「食べられなくなったらどうしますか？－人工栄養で生きるということを考える」 東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座 会田 薫子氏	59名

④在宅医療連携研修事業（県事業として医療機関に対して講師を派遣）

対象：高知県地域医療連携ネットワーク会会員

日程・開催地	主催者	テーマ・講師	人数
3月2日（木） （予定）（高知市）	岡村病院	「ACP について」 高知県立大学 看護学部 准教授 森下 幸子氏	80名

⑤あったかふれあいセンターコーディネーター研修

対象：あったかふれあいセンターコーディネーター※

※あったかふれあいセンター事業において、関係機関のネットワークの構築、
地域での支え合いの仕組みづくりを推進するために必要な職員

在宅療養推進課からACPについて説明し、あったかふれあいセンターの利用者に対
するACP普及啓発の協力を依頼した。

日程	主催者	テーマ・発表者	人数
9月27日（火） （オンライン）	高知県 （企画・運営 高知県 社会福祉協議会）	「人生会議（アドバンスケアプラン ニング）について」 在宅療養推進課（苫谷）	45名

（3）県民啓発

①公開講座

対象：一般住民

日程・開催地・人数	11月1日（火） 四万十市（30名） 11月23日（水・祝） 高知市（51名） 11月26日（土） 安芸市（17名） 合計98名																						
主催者	高知県（在宅療養推進課）																						
演題・講師	「最期まで自分らしく生きるための医療・ケアを考える」 特別養護老人ホームあざみの里 看護師 松木 裕子氏																						
内容	ACPの基本的な考え方、特別養護老人ホームでの実際の事例 （市から取り組みの紹介（高知市、四万十市））																						
参加者アンケート ※別紙参照	<p>・年代</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>40代以下</th> <th>50代</th> <th>60代</th> <th>70代</th> <th>80代以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36%</td> <td>27%</td> <td>14%</td> <td>17%</td> <td>6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・人生会議をしてみようと思いますか？</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>はい</th> <th>いいえ</th> <th>分からない</th> <th>無記入・その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>84%</td> <td>3%</td> <td>11%</td> <td>2%</td> </tr> </tbody> </table>					40代以下	50代	60代	70代	80代以上	36%	27%	14%	17%	6%	はい	いいえ	分からない	無記入・その他	84%	3%	11%	2%
40代以下	50代	60代	70代	80代以上																			
36%	27%	14%	17%	6%																			
はい	いいえ	分からない	無記入・その他																				
84%	3%	11%	2%																				

②ACP フォーラム（県中央西福祉保健所主催）

対象：一般住民

日程・開催地 人数	1月28日（土）（高知市） 一般住民42名、民生委員54名 合計96名
主催者	県中央西福祉保健所
（1）基調講演	
演題・講師	「縁起でもない話の、その前に」 亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科医長 地域連携室室長 蔵本 浩一 氏
内容	講師が開発した「もしバナゲーム」を紹介し、参加者は簡易版のゲームを体験した後、参加者同士で意見交換をした。 また、講師から緩和ケアの実際やACPの必要性を説明した。
（2）パネルディスカッション	
テーマ・ パネリスト	「縁起でもない話の先にあるもの」 ・あおぞら診療所高知潮江 所長 松本 務 氏 ・土佐市在宅医療介護支援センター 看護師 山崎 千春 氏 ・居宅介護支援事業所ぼっちり 主任介護支援専門員 織田 ひとみ 氏 ・(有)坂本葬儀社エンディングサポート高知 坂本 圭匡 氏
内容	パネリストから各自の取り組みを紹介した後、参加者からの質問、意見に対し回答した。

③県政出前講座

対象：一般住民

地域の団体が主催する研修に県から講師を派遣した。2/2の土佐市では、講演後に住民と医療・介護関係者が小グループで意見交換を行った。

	日程・開催地	主催者	講師	人数
1	7月22日（金） （高知市）	高知市老人クラブ連合会	近森病院顧問・外科部長 北村 龍彦氏	41名
2	11月22日（月） （大豊町）	土佐長岡郡医師会 （大豊町フレイルサポーター）	公益社団法人高知県訪問看護連絡協議会 会長 安岡 しずか氏	18名
3	11月24日（木） （土佐市）	土佐市社会福祉協議会土佐市 あったかふれあいセンター高岡	高知県医療ソーシャルワーカー協会 会長 中本 雅彦氏	15名
4	2月2日（木） （土佐市）	同上	同上	10名

④日本一の健康長寿県構想広報番組

フレイル予防の取り組みを行っている仁淀川町の住民の方が中山間地域で日頃予防を行いつつ「心積もりノート」などを活用しながら家族や専門職と話し合いを行っている様子を放送。(詳細別紙)

放送：8月20日(土)、8月28日(日) KUTV

⑤企業との連携

(1) 生命保険会社											
富国生命保険相互会社	・啓発資材の配布										
あいおいニッセイ 同和損害保険株式会社	・啓発資材の配布										
	・共同セミナーの開催 「がんの最新治療と人生会議～ 今、家族と決めておくこと～」										
	日程・人数	10月30日(日) (41名) オンライン (33名)・会場視聴 (8名)									
	対象	一般住民									
	テーマ・講師	第1部 「メディポリスがんセミナー ～がんの最新治療について～」 メディポリス国際陽子線センター 国際医療連携部長 田中 耕太郎氏 第2部 「自分らしく生きるための医療・ケアを考える」 高知県立大学 看護学部 准教授 森下 幸子氏									
<参加者アンケート>											
・年代											
<table border="1"> <tr> <td>40代以下</td> <td>50代</td> <td>60代</td> <td>70代</td> <td>80代以上</td> </tr> <tr> <td>39%</td> <td>32%</td> <td>18%</td> <td>11%</td> <td>0%</td> </tr> </table>		40代以下	50代	60代	70代	80代以上	39%	32%	18%	11%	0%
40代以下	50代	60代	70代	80代以上							
39%	32%	18%	11%	0%							
・人生会議をしてみようと思いますか？											
<table border="1"> <tr> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>分からない</td> </tr> <tr> <td>82%</td> <td>0%</td> <td>18%</td> </tr> </table>		はい	いいえ	分からない	82%	0%	18%				
はい	いいえ	分からない									
82%	0%	18%									
(2) その他											
コープ葬祭	日程：7月30日(土) 場所：コープ葬祭愛宕山店(高知市) 終活セミナーに高知県のブースを設け、来場者に人生会議の説明及びリーフレットの配布を行った。										
こうち生協	・公開講座チラシの配布										

⑥その他の講演

令和4年度四国リビングウイイル研究会において、人生会議に関する県の取組を紹介。

対象：尊厳死協会会員、一般住民

日程	主催者	テーマ・発表者
2月12日(日) (高知市)	日本尊厳死協会 四国支部・高知	「県の取組について」 在宅療養推進課 課長

⑦人生会議 啓発資材配布 (R4.2月時点)

※配布先は別紙参照

資材	配布先	部数	備考
リーフレット	市町村等	3,812部	
	黒潮町	5,000部	年末年始に家族で話し合っていただけのように、R4,12月に町広報誌と併せて、全戸に配布
ポスター	市町村等	274部	

⑧在宅療養推進課のホームページでの紹介

- ・安芸市の取り組みを紹介
- ・厚生労働省の人生会議普及啓発動画のリンクを掲載

(4) 令和4年度事業から見えた課題

- ①看取る立場となる家族、特に50～60代に対する啓発が必要
(高知県在宅療養推進懇談会※意見)
- ②4割の市町村がACPの普及啓発ができておらず、優良事例の横展開が必要
(令和4年度地域包括ケアシステム構築に関する実態調査/高知県)
- ③これまで養成してきた相談員(累計202名)の有効活用を図ることが必要
- ④ACPは在宅療養者に限定した導入は難しく、外来や入院のタイミングで導入していくことが必要。
(高知県在宅療養推進懇談会意見)

※高知県在宅療養推進懇談会：高知版地域包括ケアシステムの構築にかかる在宅療養の推進について、介護等が必要になっても地域で暮らし続けられるしくみづくりを目指すため、幅広い視点から施策の評価・検証及び新たな施策等の提言等を行うことを目的とした、有識者による懇談会

令和4年度事業と今後の取り組みについて

主な対象	ツール	サポーター	R4年度事業	今後の取り組み
県民全体 (特に一般高齢者)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター ・リーフレット ・TV、ラジオ ・企業から情報提供 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-top: 5px;">広報</div>	県、市町村 企業（葬儀社、保険会社等）	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発資材の配布 ・TV、ラジオ読み上げ 新 ・県ホームページ ・保険会社と共同セミナー 新 (1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業と共同セミナー ・企業の従業員を対象とした研修を実施 ・空き家対策事業とコラボしたACPの周知※
一般高齢者	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">公開講座・出前講座</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 地域*での啓発活動 *集いの場、いきいき百歳体操、あったか、自治会等 </div>	県、市町村 民生委員、社会福祉協議会、あったかふれあいセンター、自治会等	<ul style="list-style-type: none"> ・公開講座（3回） 新 ・フォーラム（1回） ・出前講座（4回） ・あったかふれあいセンターコーディネーター研修（1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村、あったか等を対象に先進事例を学ぶ情報交換会を実施 ・社会福祉協議会と協力し、地域での啓発活動を推進 (人生会議の実践に向けた講座、グループワーク等)
患者 要介護者 その家族	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情報提供・声かけ</div>	地域包括支援センター、ケアマネジャー 医療・介護関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員研修（2回） 新 ・研修への講師派遣（4回） 新 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員を活用した啓発の推進（要検討） ・外来や入院のタイミングでのACP導入の推進（要検討）

※空き家対策事業

県内の空き家は約5万戸あり、空き家率は12.8%で全国ワースト1である。使用目的のない空き家はほとんど放置され、活用されていない。空き家を放置すると老朽化が進み、倒壊の危険性や不法侵入や盗難などの犯罪が発生する可能性が高くなる。

高知県住宅課では、空き家に関する無料の総合相談窓口を設置し、売買、相続や登記の困りごとなど、幅広い相談に応じている。また、市町村や地域団体と連携した空き家の掘り起こしや、広報活動を実施し、空き家の活用を推進している。

※空き家対策事業とコラボしたACPの周知

空き家対策においても、家の所有者が元気なうちに家族で話し合うことが必要であり、県民を対象とした講座を実施予定。空き家対策の講座の会場において、来場者に人生会議のリーフレットを配布する。

令和4年度高知県人生会議公開講座 アンケート集計結果

「最期まで自分らしく生きるための医療・ケアを考える～人生会議してみませんか～」

1. 講座「最期まで自分らしく生きるための医療・ケアを考える～人生会議してみませんか?～」はいかがでしたか?

	満足	概ね満足	普通	やや不満	不満	無記入	合計
高知市	23	17	3	0	0	3	46
安芸市	6	7	1	0	1	2	17
四万十市	15	10	2	0	0	4	31
合計	44	34	6	0	1	9	94
(%)	47%	36%	6%	0%	1%	10%	100%

2. あなたの年代を○で囲んでください。

	40代以下	50代	60代	70代	80代以上	合計
高知市	15	13	6	7	5	46
安芸市	3	5	0	8	1	17
四万十市	16	7	7	1	0	31
合計	34	25	13	16	6	94
(%)	36%	27%	14%	17%	6%	100%

3. 本日の公開講座に参加された動機を教えてください。(複数回答可)

- (1) 人生会議に関心があったから
- (2) 家族、知人等に参加を勧められたから
- (3) 身近な方で「人生会議」をした方がいたから
- (4) 医療・介護に関わる仕事をしているから
- (5) その他※

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	合計
高知市	32	2	1	21	4	60
安芸市	9	3	0	7	1	20
四万十市	12	4	0	21	1	38
合計	53	9	1	49	6	118
(%)	45%	8%	1%	42%	5%	100%

4. あなたはこれから人生会議をしてみようと思いますか？

	はい	いいえ	分からない	その他	無記入	合計
高知市	41	0	4	1	0	46
安芸市	11	2	3	0	1	17
四万十市	27	1	3	0	0	31
合計	79	3	10	1	1	94
(%)	84%	3%	11%	1%	1%	100%

5. (4の回答に関して) なぜそう思いましたか？

6. 本日の講座を聞いて参考になったことや、ご感想をお聞かせください。

5, 6の回答は別紙参照

令和4年度日本一の健康長寿県構想広報番組 構成（案）

①地域包括ケアシステムについて

- ・地域包括ケアシステムの概要説明

②フレイル予防に関する取り組み

- ・フレイル予防の概要説明
- ・仁淀川町の事例紹介（フレイル予防の取組）

③ACPの大切さについて

- ・ACP（人生会議）の大切さについての説明
- ・仁淀川町の事例紹介（心積もりノートの取り組み等）
- ・仁淀川町の住民へのインタビュー
（NPO 法人フレイルサポート仁淀川理事長等）

※日頃地域でフレイル予防の取り組みを行っているが、もし将来医療や介護が必要になっても支援を受けながら地域で暮らし続けたい、といった思いを家族や専門職と共有しているといったことを述べてもらう

④人材育成にかかる取り組み

- ・訪問看護に従事する人材の育成にかかる取り組みの説明
（中山間地域等訪問看護師育成講座 スタートアップ研修）
- ・訪問看護に従事する看護師及び利用者へのインタビュー
※日頃の業務で多職種の連携が重要であることを述べてもらう

⑤多職種連携の重要性について

- ・在宅療養体制における多職種連携の重要性について説明
- ・多職種による検討の場の紹介（病院内での多職種カンファレンス、退院支援事業における運営メンバー会議など）
- ・高知県立大学 森下安子先生（入退院支援事業実施）へのインタビュー
- ・高知家@ラインの紹介

市町村の取り組み

- ・ 高知市
- ・ 安芸市

令和 5 年度事業計画



計画一覧

進捗管理	・ 検討会議の開催 ⇒ 2 回
人材育成	・ 指導者研修（国） ⇒ 1 回（仮） ・ 相談員研修（国） ⇒ 2 回（仮） ・ 医療従事者レベルアップ事業（県） ⇒ 3 回 ・ あったかふれあいセンターコーディネーター研修（県） ⇒ 1 回 ・ 市町村等情報交換会 ⇒ 1 回
実態把握	・ 市町村アンケート調査 ⇒ 5 月
県民啓発	・ 公開講座 ⇒ 3 回 ・ 広報媒体 ⇒ 高知新聞広告（9 月）、テレビ・ラジオ読み上げ等（9 月） ・ 出前講座 ⇒ 1 4 回 ・ 企業内講座（随時） ・ 空き家対策事業とコラボした周知 ・ 啓発ポスター・リーフレット ⇒ 随時配布

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
進捗管理				第 1 回 検討 会議							第 2 回 検討 会議	
人材育成	レベル アップ 事業 (随時)	新	市町村等 情報交換会			あったか コーディネ ーター 研修	(国) 指導者 研修 (仮)		(国) 相談員 研修 (仮)		実施状況 確認調査	
実態把握		市町村 アンケート 実施										
県民啓発	出前 講座 (随時)											
	啓発資料 配布 (随時)					高知 新聞 広告						
	新 企業内 講座 (随時)						公開講座 (3 回)				アンケート 調査	
新 空き家対策 事業と コラボした 周知						テレビ・ ラジオ 読み上げ						

人生会議（ACP） 令和5年度事業計画

【重点取り組み】

拡

1. 地域での啓発活動への支援

地域の身近な場所における講座や企業内研修を行うことで、幅広い世代の県民に向けた普及啓発を行うとともに、地域単位での取り組みを推進する。

・相談員を活用した啓発（要検討）

厚生労働省主催の「患者の意向を尊重した意思決定のための研修会」の受講者に講師を依頼し、地域で講座を実施する。

・企業内研修

県と包括協定を締結している企業等の社員を対象とした研修を開催する。

・空き家対策事業と合わせた啓発

県住宅課が実施する空き家対策事業のセミナーにおいて啓発資材を配布する。

2. 市町村での啓発活動への支援

市町村の先進的な取り組みを共有することで、県内各地域での横展開を図る。

新

・市町村担当者等の情報交換会（1回）

目的：市町村担当者から、「人生会議について、住民への伝え方やどのように実践につなげるか、方法が分からない」という意見があった。

先進的な取り組みの事例などを共有し、各地域での啓発に活用する。

対象：市町村担当者、市町村社会福祉協議会、地域包括支援センター職員、あったかふれあいセンター職員等

参加人数 30名程度

会場：高知市

内容：人生会議の講義、市町村の取組紹介、グループワーク

新

3. 医療、介護現場における人生会議の取り組みの支援

・外来、入院のタイミングにおける普及啓発（要検討）

・医療・介護関係者等を対象に、人生会議に関する人材養成研修を県が実施する（要検討）

【継続の取り組み】

(1) 人生の最終段階における医療・ケア検討会議

年2回開催（7月、2月）

(2) 人材育成

①指導者研修、相談員研修（※厚生労働省主催）

- ・指導者研修 1回（仮）時期未定
- ・相談員研修 2回（仮）時期未定

②医療関係団体が行う研修への講師派遣

- ・医療従事者レベルアップ事業 3回
- ・在宅医療連携研修事業 3回

③あったかふれあいセンターコーディネーター研修 1回

(3) 県民啓発

①公開講座 3回

目的：県内各地で県民を対象に人生会議の講座を行うことで啓発を行う。

対象：一般県民、参加人数 50名程度/回

開催：県内各地 3回（県主催2回＋民間企業との共催1回）

内容：人生会議の講座（初めての方向け）

拡

②県政出前講座 14回

目的：地域の集いの場に伺い、人生会議の出前講座を行うことで啓発を行う。

対象：一般県民、地域の医療・介護関係者 参加人数 20名程度/回

開催：県内各地

内容：人生会議の講座（初めての方向け）

講師の候補：厚生労働省主催の「患者の意向を尊重した意思決定のための研修会」の受講者

③企業との連携

- ・生命保険会社、葬儀社等との連携
- ・県と包括協定を締結している企業へ協力依頼

④人生会議 啓発資材配布

⑤在宅療養推進課のホームページでの紹介

- ・市町村の取り組みを紹介